キャラクター名
荒垣　詠司　（アラガキ　エイジ）

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー バロール	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男性
覚醒	渇望	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	犯罪者の子	経験	仲間の死	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	1	0	0			1
精神	3	1	0			4
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1	1	調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
【ニーズヘッグ】		0				コスト5　自身　セットアップ
③+⑥　79%↓		0				ラウンド中、被ダメ-9　ガード値+9
③+⑥　80%↑		0				ラウンド中、被ダメ-12　ガード値+12
③+⑥　100%↑		0				ラウンド中、被ダメ-15　ガード値+15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
カジュアル	
携帯電話	
思い出の一品	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：起源種	P　庇護	N　憎悪		
仲間	P 連帯感	N　不安		
霧谷雄吾	P　友情	N　嫌悪		
矢神秀人	P 好奇心	N 猜疑心		
御巫一夜	P 好奇心	N 猜疑心		
卯月裕香	P　慈愛	N　食傷		
KSG	P　友情	N　憐憫		

最大財産P:　4	残り財産P：　1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
炎神	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：カバーリングを行う。MP/1								
氷楯	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：ガード値を+［Lv*5］する。								
氷の城塞	3	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：ラウンド中受けるあらゆるダメージを-［Lv*3］する。何らかの移動をした場合無効。								
氷雪の守護	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：ダメージ適応直前。受けるダメージを-［Lv+1D］する。R/1								
ダイアモンドダスト	1	3	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果：『氷雪の守護』と同時に使用。軽減するダメージに更に-3Dする。								
虚無の城塞	3	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：ラウンド中ガード値を+［Lv*3］する。								
孤独の魔眼	1	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果：「範囲」「範囲（選択）」の攻撃の対象を自身一人に変更。Sy/Lv								
時の棺	1	10	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果：判定の直前。その判定を失敗にする。Sy/1								
熱感知知覚	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：熱を視覚として知覚することが出来る。								
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果：自分の知ってる場所にゲートを開く。								
効果：								
効果：								
効果：								

「俺の前で勝手なことはさせねぇ！」
「おい、俺のダチに何してやがる！」

UGNの任務を受けつつ某高校に通ういわゆる不良。
学校では基本的に誰とつるむこともなく一匹狼として活動している。
生まれと同時に母を亡くし片親で育ったが、物心ついた頃に父親が殺人の罪で逮捕される。
父親を憎み周囲の目から隠れるように裏で生活をしていた所をUGNに拾われる。
UGNの施設での訓練中、研究室に忍び込み遺跡から持ち出しされたレネゲイドウィルスを発見。
侵入を発見され、罰として実験に使われ感染させられ起源種ウィルスに適合。
こう見えて情に厚く、仲間を全力で守る熱い男である。

後にUGNの調べにより、父親はある組織にスケープゴートにされただけで無実であることが判明。
現在は組織も潰れ、父親は釈放され普通の生活している事を知る。しかし周囲の視線が変わるものではない。
父親に会う気は無く、時々父親が使っていたという古いZIPPOを鳴らしては物思いに耽っている。

" Being the most important can't be seen in the eyes."